

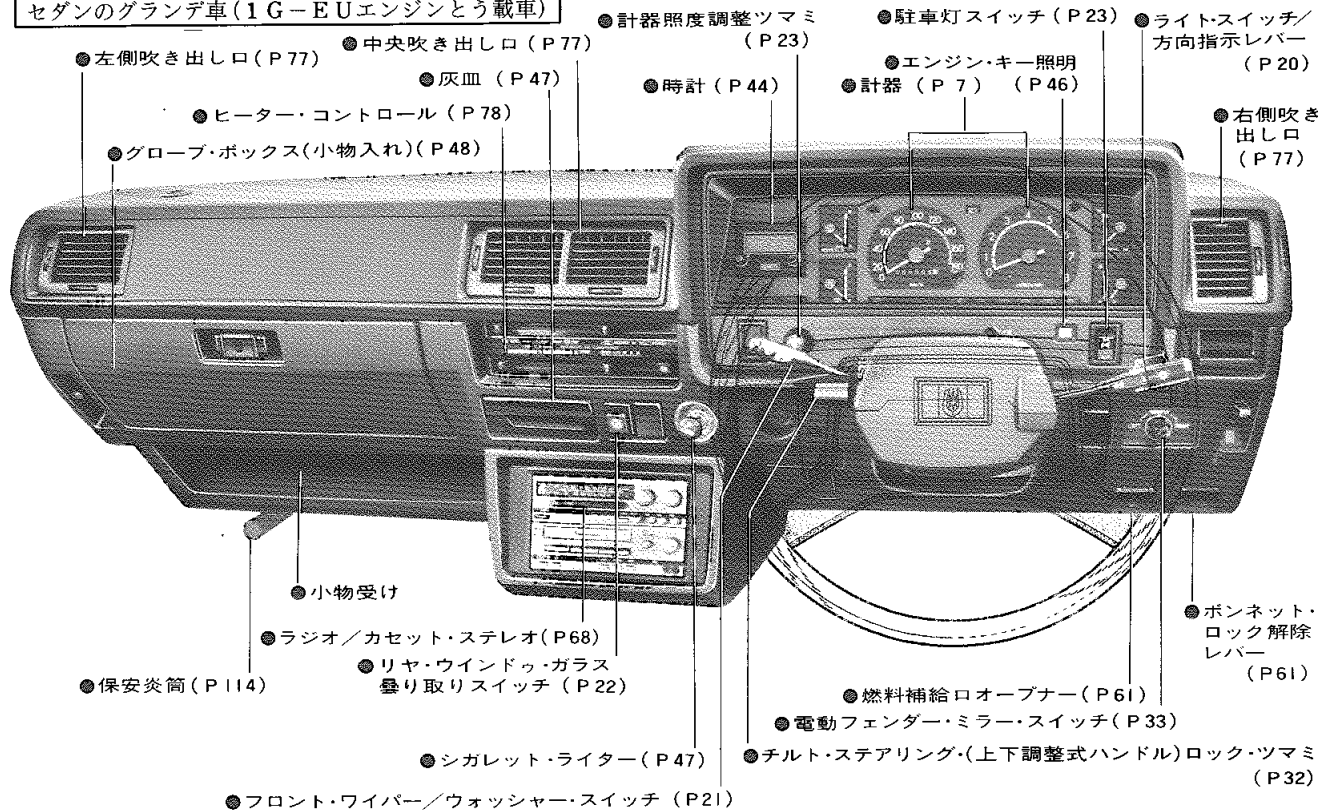


メーターの見方、使い方

計器盤各部の名称	6
メーター、ランプの見方	7
①速度計	9
②積算距離計	9
③区間距離計	9
④エンジン回転計	9
⑤燃料計	9
⑥燃料残量警告灯	10
⑦水温計	10
⑧電圧計	11
⑨充電警告灯	11
⑩油圧計	12
⑪油圧警告灯	13
⑫ブースト計	13
⑬排気温警告灯	14
⑭ブレーキ警告灯	14
⑮前照灯の上向き表示灯	15
⑯方向指示表示灯／非常点滅灯表示灯	15
⑰半ドア警告灯	15
⑱駐車ブレーキ警告灯	15
⑲断線警告灯	16
⑳冷却水量警告灯	16
㉑ウォッシャー液量警告灯	16
㉒予熱表示灯	16
㉓タイミング・ベルト交換警告灯	17
㉔燃料・水分離器水位警告灯	17
エレクトロニック・スピーク・モニター(音声警告装置)	17

計器盤各部の名称

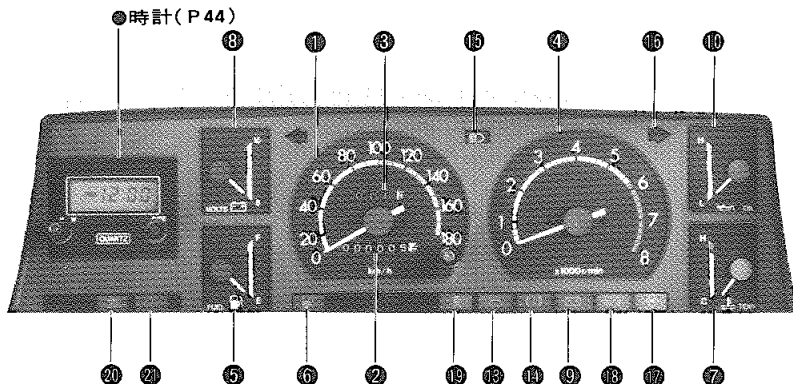
セダンのグランデ車(1G-EUエンジンとう載車)



- 左側吹き出し口 (P 77)
- 中央吹き出し口 (P 77)
- 灰皿 (P 47)
- 時計 (P 44)
- 計器照度調整ツマミ (P 23)
- 駐車灯スイッチ (P 23)
- エンジン・キー照明
- 計器 (P 7) (P 46)
- ライトスイッチ/方向指示レバー (P 20)
- ヒーター・コントロール (P 78)
- グローブ・ボックス(小物入れ)(P 48)
- 右側吹き出し口 (P 77)
- 小物受け
- ラジオ/カセット・ステレオ(P 68)
- リヤ・ウインドウ・ガラス 曇り取りスイッチ (P 22)
- 保安炎筒 (P 114)
- シガレット・ライター (P 47)
- フロント・ワイパー/ウォッシャー・スイッチ (P 21)
- 燃料補給ローパーナー (P 61)
- 電動フェンダー・ミラー・スイッチ (P 33)
- チルト・ステアリング・(上下調整式ハンドル)ロック・ツマミ (P 32)
- ボンネット・ロック解除レバー (P 61)

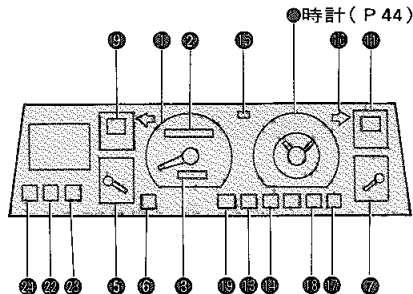
メーター、 ランプの 見方

セダン GT, LG, LGツーリング, グランデ車 (除くターボ車)

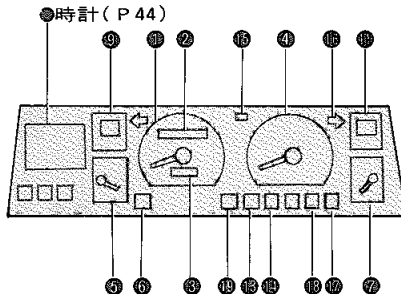


スタンダード, デラックス, ディーゼル車

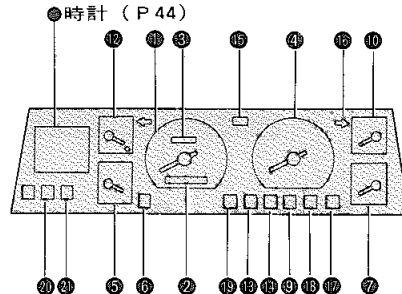
(22, 23, 24はディーゼル車のみ, 19はディーゼル車なし, 16はスタンダード, デラックス車なし, 時計はスタンダード車なし)



GL, GR, LE車

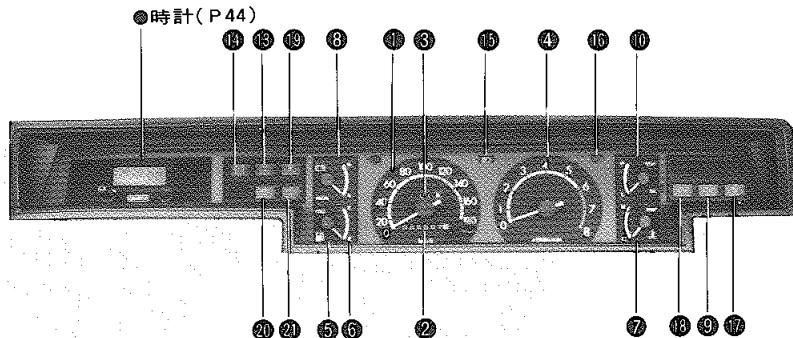


ターボ車

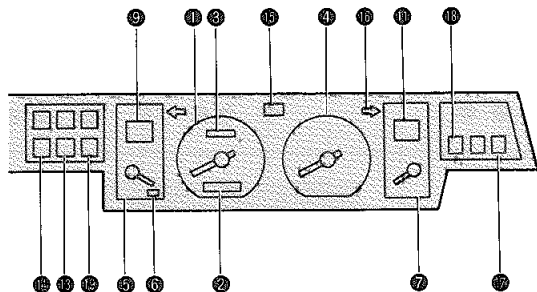


⑧ =メーター, ランプの見方

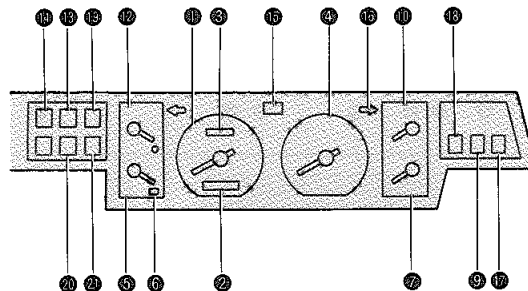
ハードトップ GT, LG, LGツーリング, グランド車 (除くターボ車)



GL, GR, LE車



ターボ車



①速度計

車両の速度を示します。

約 100 km/h 以上になるとブザーが鳴り警告します。ブザーが鳴っているとき指針が振れることがありますが異常ではありません。

②積算距離計

走行した総距離を km の単位で表わします。白地に黒文字は、100m の単位です。

③区間距離計

ツマミを押せば 0 にもどり、以後の走行距離を示します。

④エンジン回転計

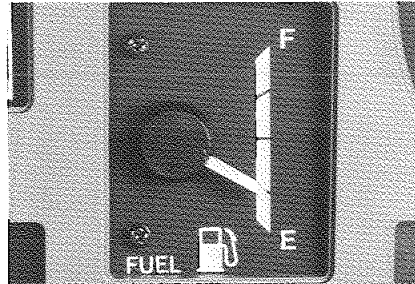
ディーゼル車およびスタンダード、デラックス車を除く

毎分のエンジン回転数を示します。

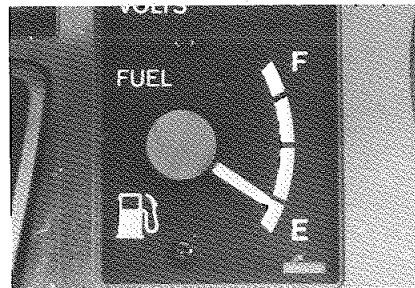
指針が赤色表示部（エンジンの許容回転数を越えている）にはならないように運転してください。

⑤燃料計

ハードトップを除く



ハードトップ



燃料タンク内の燃料残量を示します。置針式ですのでエンジン・スイッチに関係なく残量を示しますが、エンジン・スイッチ OFF で長時間放置しておきますと指示が若干変わる場合もあります。

車種	燃料タンク容量 (ℓ)
セダン	65
ハードトップ	
ワゴン	61.5
バン	

★E に近づいたら早目に燃料を補給してください。

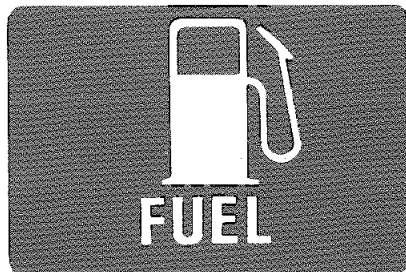
★燃料補給後、エンジン・スイッチを ON にしてから指示が安定するまで少し時間がかかりますが異常ではありません。

★高速道路や自動車専用道路での燃料切れは違反になります。走行前に必ず燃料が十分あることを確認してください。

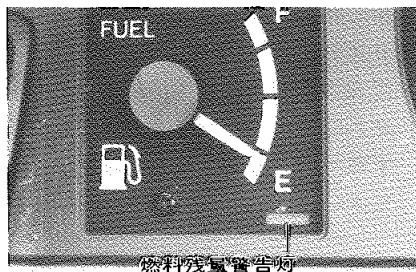
⑩ =メーター、ランプの見方

⑩ 燃料残量警告灯 *

ハードトップを除く



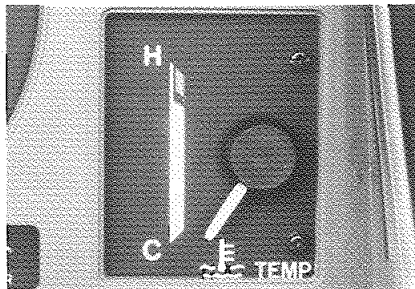
ハードトップ



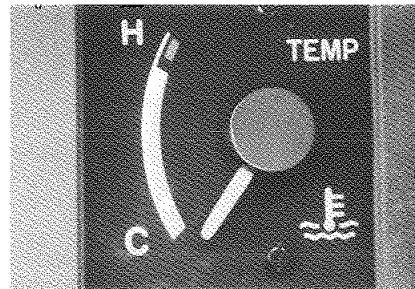
燃料の残量が約10 l 以下になると、点灯して警告します。

⑦ 水温計

ハードトップを除く



ハードトップ



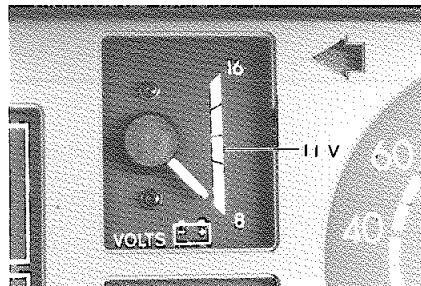
冷却水温を示します。
走行中の温度は目盛り H の赤色表示部より内側をさしているのが正常です。



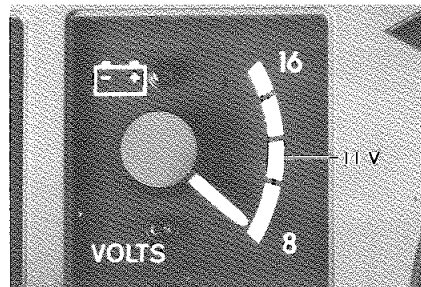
指針が、Hの赤色表示部にはいったときは、オーバー・ヒートのおそれがありますので、ただちに車を安全な場所に止め、処置をしてください。
116ページの「オーバー・ヒートの処置」の項目を参照してください。

⑧電圧計 *

ハードトップを除く



ハードトップ

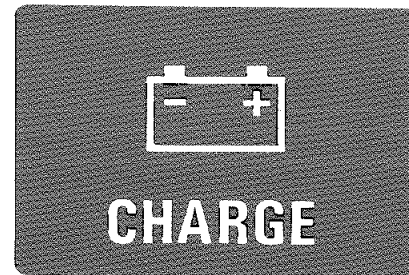


1. エンジン・スイッチをONにすると作動します。
2. 通常は11~16Vを指示するのが正常です。
3. 通常走行時16V以上または、11V以下を指示するときは、バッテリー

ーや充電システムの異常が考えられます。点検を受けてください。

4. エンジン始動時は11V以下を指示することがありますが、異常ではありません。

⑨充電警告灯



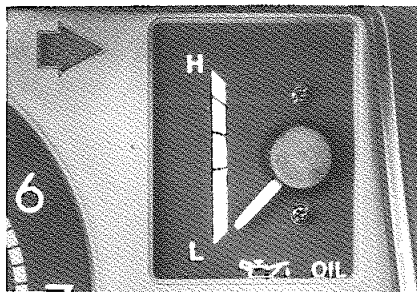
1. エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。
2. エンジン回転中に点灯した場合は、ファン・ベルト、ヒューズの切れなど充電システムに異常のあることが考えられます。ただちに速度を落とし安全な場所へ停車してサービス工場へお申し出ください。
3. 万一、ディーゼル車で充電警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは、ファン・ベルトの切れが考えられます。この場合ブレーキ倍力装置が作用しなくなり、ブレーキの効きが悪くなりますので、ブレーキ・ペダルを踏み効きが悪いときは強く踏んでください。

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

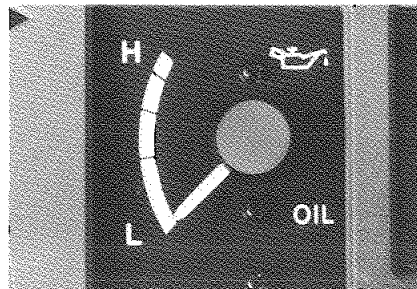
4. ガソリン車の場合、充電警告灯が点灯するときは「排気温警告灯」も同時に点灯します。

⑩油圧計 *

ハードトップを除く



ハードトップ



エンジン回転中の潤滑油の圧力を示します。

1. エンジン回転を上げても指針が動かない場合は、潤滑系統に異常があります。エンジンを止めてオイル量を点検してください。

2. オイル量が正規であれば、他に異常がありますので点検を受けてください。

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

●油圧警告灯 *



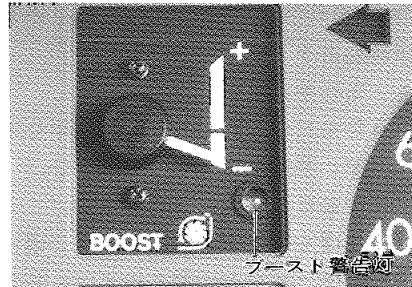
エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

1. エンジン回転中に点灯したままのときは、エンジンを止めてオイル量を点検してください。
2. オイル量が正規であれば、他に異常がありません。
点灯したまま走行するとエンジンの焼き付きを起こすおそれがありますので点検を受けてください。

●ブースト計

ターボ車

▶セダン



ブースト警告灯

▶ハードトップ



ブースト警告灯

走行中、ターボの作動状態を示します。

1. ターボが作動し過給圧があがると指針が動いて作動状態を示します。
2. ブースト警告灯が点灯したときはターボ装置の異常が考えられます。

エンジン回転を 2,000 回転以下にして走行してください。

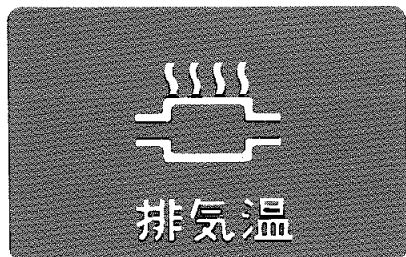


ブースト警告灯が点灯したままのときは、ターボ装置の不具合が考えられますのでただちに販売店で点検を受けてください。

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

④ 排気温警告灯

ディーゼル車を除く



触媒装置の温度が高くなりすぎると、点灯して警告します。

1. エンジン・スイッチをONにすると点灯し始動すると消灯するのが正常です。
2. ONにしても点灯しない場合は点検を受けてください。
3. 充電警告灯が点灯すると、同時に「排気温警告灯」も点灯します。この場合、触媒の温度上昇を知らせているではありません。



「排気温警告灯」が点灯した場合、必ず次の処置をしてください。

1. 走行中の場合

- 警告灯が点灯したときの、半分程度に速度を落としてください。普通は数分内に消灯します。

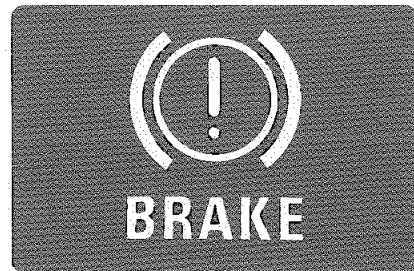
- 速度を落としても消灯しない場合は枯れ草などの燃えやすいものない場所に停車してください。それでも消灯しない場合はエンジンを止めて冷却してください。冷却したあとで再びエンジンを始動して消灯していることを確認してください。

2. 停車中の場合

- エンジンを止めて冷却するまで放置してください。冷却した後は再びエンジンを始動し消灯していることを確認してください。

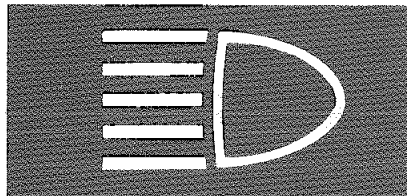
消灯しない場合または再び点灯する場合は、そのまま使用せず点検を受けてください。

④ ブレーキ警告灯



1. エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。
2. エンジン回転中に点灯したときは、ブレーキ液の不足、ESC（電子制御式横すべり防止装置）の異常またはディーゼル車のブレーキ倍力装置の異常などが考えられます。ただちに速度を落とし、安全な場所に停車してサービス工場へお申し出ください。
3. 万一、走行中に点灯したときはブレーキの効きが悪くなっているおそれがありますので、ブレーキ・ペダルを踏み効きが悪いときは強く踏んでください。

⑮前照灯の上向き表示灯



前照灯が上向きするとき点灯します。

⑯方向指示表示灯／非常点滅灯表示灯

方向指示レバーを操作すると点滅して右折、左折を示します。

また非常点滅灯スイッチを作動させると両方の方向指示表示灯が同時に点滅します。

点滅が異常に早くなるときは、電球切れが考えられます。

⑰半ドア警告灯



ドアが完全にしめられていないとき点灯します。

⑱駐車ブレーキ警告灯



エンジン・スイッチがONのとき、駐車ブレーキ・レバーを引くと点灯し、もどすと消灯します。



走行前に、消灯していることを確認してください。

⑩ = メーター、ランプの見方

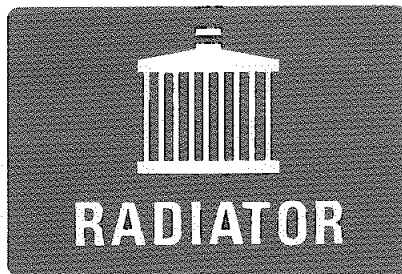
⑩ 断線警告灯



エンジン回転中尾灯、番号灯および制動灯を点灯したとき、各ランプの電球切れまたは、配線の不具合があると点灯し警告します。

1. エンジン・スイッチをONにすると警告灯が点灯し、始動すると消灯するのが正常です。
2. エンジン・スイッチをONにしても点灯しない場合、またはエンジンを始動しても消灯しない場合は、警告灯の電球切れ、断線警告装置の不具合が考えられます。

⑪ 冷却水量警告灯 *



ラジエーター補助タンクの液量が規定量以下になったことを知らせます。

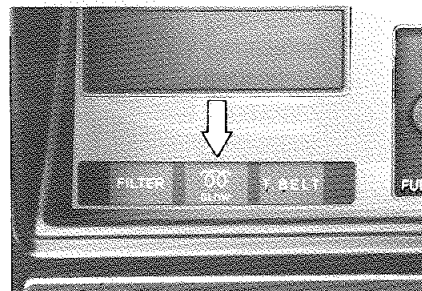
⑫ ウォッシャー液警告灯 *



ウォッシャー液が規定量以下になったことを知らせます。

⑬ 予熱表示灯

ディーゼル車



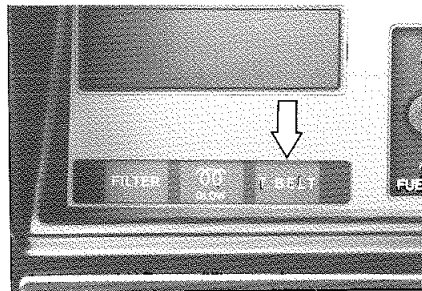
エンジン・スイッチをONにしたとき点灯し、予熱プラグの予熱状態を表示します。予熱が完了すると消灯します。25ページの「エンジン始動」の項目を参照してください。

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

無断複製禁止

④ タイミング・ベルト交換警告灯

ディーゼル車

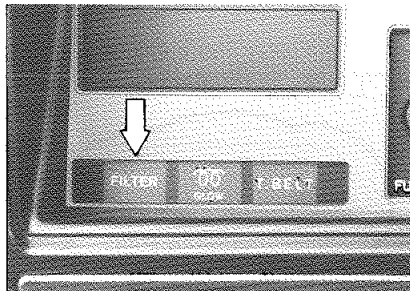


1. エンジン・スイッチがONのとき点灯し、始動すると消灯します。点灯しないときは、電球切れなどが考えられます。
2. 10万km走行後点灯します。

点灯したまま走行すると、タイミング・ベルトが切れてエンジンが損傷するおそれがありますので、トヨタ・サービス工場で交換してください。

⑤ 燃料・水分離器水位警告灯

ディーゼル車



1. エンジン・スイッチがONのとき点灯し、始動すると消灯します。点灯しないときは、電球切れなどが考えられます。
2. 燃料・水分離器内に規定レベル以上の水がたまると点灯します。このとき同時にブザーが鳴ります。

点灯したまま走行を続けると噴射ポンプが焼き付きエンジンが損傷するおそれがあります。警告灯が点灯したらただちに排水してください。

129ページの「燃料・水分離器の排水方法」の項目を参照してください。

⑥ エレクトロニック・スピーク・モニター(音声警告装置)*

次のような場合、運転席側スピーカーより、チャイムが鳴ったあと音声で次のように警告します。

1. エンジンを始動したとき、シート・ベルトの着用を奨励します。

ベルトを
お確かめください。

2. キーが差し込まれたまま運転席側ドアをひらいたとき、キーの抜き忘れを警告します。

キーをお確かめ
ください。

(2回)

3. ライトをつけたままエンジンを切ったとき、およびライトをつけたままキーを抜いたときライトの消し忘れを警告します。

ライトをお確かめ
ください。

(2回)

4. ガソリンの残量が10ℓ以下になったとき警告します。

ガソリンを
入れてください。

(2回)

5. 走行中、4つのドアのいずれかが完全にしめられていないとき警告します。

ドアをお確かめ
ください。

(2回)

6. 駐車ブレーキ・レバーを引いたまま走行しはじめたとき、駐車ブレーキ・レバーのもどし忘れを警告します。

パーキング・ブレーキを
お確かめください。

(2回)